



いつもお世話になっております。夏本番前というのに暑い日が続いておりますが、皆さま体調は崩されていないでしょうか。
この度、自閉症者地域生活支援センターなないろにて大きく体制変更をすることになったため、お知らせいたします。



2025年度なないろの体制

2021年4月の自閉症者地域生活支援センターなないろの開設時から所長・管理者をしておりました 加藤 潔 が、先日開催された社会福祉法人はるにれの里評議員会及び理事会において理事長に選任されました。それに伴い、2025年7月以降のなないろの体制は次のとおりとなります。

▼自閉症者地域生活支援センターなないろ(生活介護・短期入所) 管理者 ^{やっこ} 八子 竜太
生活介護 担当管理職 吉井 宏孝 (苦情解決対応窓口・虐待防止マネジャー兼務)
短期入所 担当管理職 平松 浩樹
苦情解決対応窓口・虐待防止マネジャー 相澤 輝彦
札幌市障がい者緊急入所受入先調整窓口事業 事業担当 平松 浩樹
札幌市短期入所事業所ネットワーク会議 担当 平松 浩樹

▼自閉症者地域生活支援センターなないろ 相談室にじいろ 管理者・担当管理職 平松 浩樹
苦情解決対応窓口・虐待防止マネジャー 林崎 朗冬

▼ヘルパーステーションAina 管理者・担当管理職 中幡 恵太
苦情解決対応窓口・虐待防止マネジャー 村瀬 敬軌

▼共同生活援助あしり 東エリア 担当管理職 上田 生子

これからも引き続き、自閉症者地域生活支援センターなないろをよろしくお願いたします。

利用者年収向上プロジェクトより



なないろのアート活動から生まれたLINEスタンプを販売しています
内容は右のQRコードを読み込んでご覧ください



アート活動・創作活動からの作品は順次更新予定です
作品はなないろ玄関及び地域交流ホールに常設されています

2025年カレンダー(1点500円)、メモ帳も販売しています
ご用命の方はなないろまでご連絡ください

オリジナル入浴剤の販売もスタートしています

2025年度も札幌市委託の近隣公園清掃業務を行っています。引き続きよろしくお願いいたします。





やっこ

7月からなないろの管理者になりました、八子竜太と申します。

なないろが開設して今年で五年目になります。なないろは利用者さまの「くらし」「しごと」「よか」を支える総合支援センターとして、生活介護、短期入所、地域支援、行動援護、相談など複数の事業所が日々連携をしながら支援に取り組んでいます。これまでたくさんの試行錯誤を重ねてきましたが、その連携から生まれるチーム力とそれを支える人材こそがなないろの最大の強みだと感じています。利用者さまの抱えているニーズは、ライフステージや年齢、お一人お一人の状況などによって様々です。それら一つひとつと丁寧に向き合い、利用者さまご自身の意志や想いを大切にしながらニーズを叶えていけるように、そして、利用者さまが末永く安心して生活をしていけるように、なないろ全体ワンチームでこれからも取り組んでいきたいと思ひます。

今回のなないろ体制の変更は、これまでを振り返り、新しいことにチャレンジするためのチャンスでもあると捉えています。これまでの支援や取り組みの質を維持しつつ、利用者さまのより良い暮らしのためにできることをこれからも考え続けていきたいと思っています。なないろ開設からの土台を作ってきた第一期が終わり、それらを継続・発展させていく第二期が始まります。

是非これからもなないろの取り組みへのご理解、ご協力を頂けますと幸いです。皆さま、どうぞよろしくお願い致します。(八子)



こんにちは！

共同生活援助事業所あしり(グループホーム)の東エリア担当の上田生子です。

はるにれの里に入職してからグループホームに長く関わってきましたが、東エリアの担当になって今年で10年目を迎えました。気づけば一番長く関わっている部署となり、利用者様やご家族、関係機関の皆様とともに歩んできた日々が、私にとって大切な経験となっています。

今年度からは、「地域連携推進会議」もスタートします。近隣地域の皆様や関係機関の方々と顔の見える関係を築きながら、より開かれた支援と、安心して過ごせる暮らしの場づくりに取り組んでいきたいと考えています。これからも、利用者様

にとって「自分らしく過ごせる場所」となるグループホームを目指して、日々丁寧に取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。(上田)



「一人ひとりに寄り添う個別特化型を目指して」

なないろ生活介護では、「個別特化型事業所」を共通テーマに掲げ、利用者さま一人ひとりに合った支援のあり方を日々追求しています。

私たちは、利用者の特性やニーズを丁寧に把握し、構造化による環境調整やスモールステップでの支援を取り入れることで、質の高い支援を目指しています。

活動内容・支援方法・関わり方に至るまで、可能な限りオーダーメイドでの対応を心がけ、「この方にとって今、必要な支援は何か？」をスタッフ間で常に共有し、小さな成功体験を積み重ねることを大切にしています。



これからも、利用者さまが自分らしく、安心して過ごせるよう、チーム一丸となって丁寧な支援を続けてまいります。(吉井)



- な なかまをリスペクト
- な なやんであたりまえ
- い いっば先の自負
- ろ ろんきょのある支援

なないろ2025
新体制担当者より
ごあいさつ

- 相談室にじいろでは5月より念願の増員となり、相談支援専門員が2名配置となりました。現在は業務引継ぎ中ですが、活躍をご期待ください。地域連携や複数事業所連携も継続して実施しているほか、札幌市内の共同体同士のあつまりでは相談支援の基本の“キ”を確認するなど事業の土台固めをしています。
- なないろ短期入所では利用者の方々が落ち着いて過ごすことができる場所や環境を用意しながら対応しています。専任1名体制、居室も3室しかない中ですが、できる範囲で利用される方も家族もほっと一息つける時間を作っているよう動いています。
- 札幌市障がい者緊急入所受入先調整窓口や短期入所事業所ネットワーク会議も細々と継続して行っています。(平松)



ヘルパーステーション Aina (あいな) は2024年10月から新しい事業所としてスタートしました。

主になないろを利用している方々の外出に関わらせていただいております。

少人数体制ではありますが、スタッフのみなんで日々「こんな場所もある」「こんな活動はどうだろう」とアイデアを出し合い、支援力を磨き、チームで「よか」を支えていけたらと思っています。

また、私自身は全国行動援護ネットワーク (AJKEN/通称 E-ジェーケ) ・さっぽろ行動援護ネットワーク (SKN) の事務局や行動援護従業者養成研修の事務局も担当させていただいております。自立支援協議会では強度行動障がいの支援に関する勉強会を定期的に行っております。色々な場面で皆様とお会いできることを楽しみにしております。今後ともよろしくお願い致します。(中幡)

